

# NEWS LETTER #19

## 日本看護倫理学会 第19回年次大会のご案内

モラルレジリエンス  
道徳的苦悩とともに成長するために

2026年6月20日(土)・21日(日)  
くにびきメッセ (島根県松江市)

みなさんこんにちは。

第19回年次大会のテーマ「モラルレジリエンス」は道徳的苦悩のポジティブな側面ともいわれ、困難や葛藤を意味づけし、次の実践へつなげる力です。本大会ではさまざまな企画や演題発表を通して、その育み方を学ぶだけでなく、看護倫理に関する最新トピックを共有できるよう準備を進めています。臨床・教育・研究など立場や経験年数を超えて交流し、悩みを言語化し、支え合うネットワークづくりになればと考えています。自然豊かな島根の地で心身をリフレッシュしながら、明日からの実践へのパワーとヒントを持ち帰っていただければ幸いです。多くのみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

大会長 中村充浩  
東京有明医療大学 看護学部

### 【参加登録期間】

2026年3月2日(月)～2026年7月30日(木)

※2026年5月28日までの参加登録は、1,000円割引となります (学生を除く)

年次大会ホームページ



## 日本看護倫理学会 第18回年次大会開催のご報告

第18回大会は、ウィリアムソン彰子大会長のもと、『「利他」の倫理』をテーマに 2025年5月17日・18日、神戸国際会議場で開催されました。神戸は、日本看護倫理学会誕生の地であり、大会長は本学会の発起人のお一人です。「利他の精神は日本人の気質や文化として象徴されるおもてなしの心に根差している」との趣旨は大会中、随所に見出されました。発表演題59題、交流集会9題、基調講演をはじめ、教育講演、シンポジウムや市民公開講座、ランチョンセミナーなど、特別プログラムは11演題でした。参加者は会員、非会員、学生を含め合計566名でした。さまざまな形でご支援いただきました会員の皆さまに心より感謝申し上げます。

理事長 八尋道子

# 活動状況報告

## 理事会 理事長 八尋道子

法人化第4期の新体制理事会一同は、対話やつながりを大切に、学会のさらなる発展に取り組んでいます。各委員会の研修も充実してまいりました。新年度からは年会費を値下げし、学生会員は無料になります。ぜひお仲間をJNEAにお誘いください。今後ともご支援をよろしく願いたします。6月の島根でお会いしましょう。

## 編集委員会 委員長 片山はるみ

「日本看護倫理学会誌」第18巻をお届けいたしました。本号では、内容豊かな原著10本、短報2本、事例2本、レター3本の掲載となりました。今後いっそう皆様よりの学術知・実践知の貴重な御原稿をお寄せいただき、本学会誌を通して貴重な知の共有と蓄積に皆様と共に貢献していけることを委員一同心待ちにしております。

## 広報委員会 委員長 小笹由香

広報委員会では、今年度からMLにてニュースレターを会員のみなさまにお届けすることとなりました。この号が初めてのML配信となります！今年度は、なかなか職場で看護倫理を一緒に考えられない、勉強できない、困っている、という小規模施設にお勤めの方からの声も聴くことから、当学会の研修やセミナー、e-learningなどの資料をご案内していくこと、他の看護系学会とコラボして、さらにこうした資料などを活用していくこと、などを検討しています！今後もMLでのご案内も併せて、ご活用ください！

## 学術活動推進委員会 委員長 小野美喜

令和8年度研究助成事業の採択者4名を公表しました。委員会では本学会の研究助成制度の活用支援と研究促進に努めています。第19回年次大会では過年度助成者による報告も予定しています。HPに申請様式を掲載しておりますのでぜひ制度をご活用ください。次年度も皆様からの応募をお待ちしております。

## 臨床倫理ガイドライン検討委員会

委員長 大串祐美子

2026年1月大分県で「看護管理者応援研修会第5弾」を開催しました。看護部長、師長、主任、スタッフが参加して、「身体拘束の実態」と「対象者の尊厳を守ることができないジレンマ」を共有しながら、解決にむけた具体策を話し合うことができました。今後もこの活動を継続して、看護倫理ガイドラインの改訂に役立ててまいります。

## 課題検討委員会 委員長 竹之内沙弥香

当委員会では、学会内外から寄せられる倫理的問題への問い合わせに対応し、関係委員会・理事会と連携しながら課題の整理・検討を行ってきました。今後も、学会活動の可視化や会員増加に向けた提案を行うとともに、社会的影響を伴う倫理的課題に向き合い、調査や情報収集を通して学会としての対応や提言につなげてまいります。

## 看護倫理カンファレンスファシリテーター

### 養成委員会 委員長 高橋梢子

本委員会では、看護倫理の基礎を学ぶe-learning (Step1) の配信とファシリテーションスキルを学ぶ対面研修 (Step2) を行っています。2025年度は神戸、東京、福岡の3か所で対面研修を行いました。次回のStep2は、第19回年次大会の前日、島根にて開催いたします。ぜひご参加ください！

## 研究倫理委員会 委員長 伊東美佐江

現在、所属機関にIRBがない研究者等を対象とする研究倫理審査委員会への申請に向け、研究倫理の基礎知識および倫理審査申請手続きに関する研修を受講できる体制の整備を進めています。学会HPでのご案内しますので、どうぞご利用ください。

## 会計担当 担当 鈴木真理子

2026年度より会費金額が変更され、年会費は値下げ、学生会員は無料となります。一方で、ファシリテーター養成や研究倫理の研修のためのe-learningや研究助成、さらに広報活動及び情報発信等への予算を充実させ、会員へのサービス向上ならびに新しい仲間獲得のための還元を目指していききたいと思います。

## 庶務担当 担当 眞弓尚也

庶務担当は、理事会や社員総会をはじめとする学会の様々な活動が円滑に進むよう、業務委託をしている国際文献社の方々と協力しながら、各種事務および調整業務を行なっております。今年はホームページ上の「問い合わせフォーム」を見直しました。みなさま学会へのご質問・ご意見があれば、どうぞご活用ください。

## 監事 青山ヒフミ 小西恵美子

法人化の監事の役割は会計監査だけでなく、学会が効果的にかつ適正に運営されているかを見守ることです。大事な点は「1番大きいところ（全体運営）と1番小さいところ（個々のイベントの細々した最先端）」を見ることだと考えています。看護倫理がますます重要になってきている中でともに考え、活動していきましょう。

## MedicalFinder学会員特別アクセス権

本学会の学会員はMedicalFinderの特別アクセス権を利用できます。2026年用のID/パスワードは以下の通りです。

ID: \_\_\_\_\_ パスワード: \_\_\_\_\_

ID等は、2026年2月の会員向けメールで配信したNews Letterに記載しております